



七時三十分——ベルが場内いっぱいに鳴り響きます。

「おはようございます。固定売場から競売を開始いたしますので多數ご参加ください」——スピード一のアナウンスで、今まで品定めをしていた人たちは固定売場につくられた段に立ち並びます。およそ百人くらいの人人が集まりました。

ここでは、ほれん草や玉ねぎくだもののように、大きさ、重さなどの規格が決っているものが見本によつてセリをされます。どれも同じ品物なので、見本でセリをすればすつと能率的だからです。

「香川のミカン」S玉だ。サアい

くら！ ハイいくら！」——セリ人の声にさわれるように、あちこちで手があがり、指が一本、二本と立てられます。指の数によって値段や賣う数量が示されているわけです。

「この品が千円だヨ、千円で買えないのか！」——いせいのいいかけ声がポンポンと飛び出し、次とセリ落とされていきます。

安く落ちたとニンマリする顔、もつと安くなるんでは……とよううをうかがう顔。品物の良し悪しを分ける目とかけひきが一番要求されるときです。

寒さを吹き飛ばすような活気の場内です。

サア、いくら！

市場ハつぱハニセリカ吉

くら！　ハイいくら！」——セリ
人の声にさそわれるよう、あち
こちで手があがり、指が一本、二
本と立てられます。指の数によつ
て値段や買う数量が示されている
わけです。
「この品が千円だヨ、千円で買
えないのか！」——いせいのいい
かけ声がポンポンと飛び出し、次
次とセリ落とされていきます。
安く落ちたとニンマリする顔、
もつと安くなるんでは…とようす
をうかがう顔。品物の良し悪しを
見分ける目とかけひきが一番要求
されるときです。
寒さを吹き飛ばすような活気の
場内です。

七時五十分——料金額が開示されます。白菜のところ、キヤベツのところ、あちこちでセリのかけ声がかかり、いくつの人だまりができます。

移動競売は、規格の決っていないもののセリで、売買参加人たちは、自分が買いたい品物のところに行つてセリに加わります。ゴボウ、ジャガイモと次々に終つていきます。つけ物やボケの積木までセリにかけられました。

欲しい品物のセリが終ればあとは用はない、セリ落とした品を車に積み込んでいる人もいます。セリが始まつて一時間、そろそろ一段落がつきそうです。

十一時——事務室ではセリの集計が忙しく行なわれています。セリ場には、あとたたずけもまだ続らないうちに、玉ねぎの箱を満載した貨車が入ってきました。リントも車から降ろされています。あすの明け方まで、こうして次々と荷物が運び込まれます。

職員の話 きょうのあきないは八百万から一千万円というところでしょうが、最近ちょっと少なく

一日の売り上げ

A black and white photograph of a man wearing a cap and a light-colored jacket. He is looking down at a long, narrow scroll or piece of paper he is holding in his hands. To his left, a large vertical wall is covered in dense, vertical columns of Chinese calligraphy.

きょうの入荷数は…

—ごみの出し方—
ごみ袋には必ずひもを

（緑の車）がオル
ゴールを鳴らし
て行きますから
みんなで持出し
てください。

▽ 定場所収集の町
内は、収集当日
以外はごみを出
さないでくださ
い。

▽ 空缶、ビンなど
の危険物や不燃
物は冬期間出さ
ないでください。

▽ かさのあるゴミ
やバラバラのごみは、袋等に入
れて圧縮詰めにして梱包してく
ださい。

▽ 残灰は、完全に消えたのを確か
めてから飛散しないように袋な
どに入れてください。

▽ 川や公園は、みんなの大切な財
産です。いつもきれいにしてお
きましょう。

し尿くみ取り料

2月1日から10リットルあたり15円から18円に改訂させていただきます。



野菜の山

りとは明けきらないころ、若い男の人が三人、神戸ナンバーの大型トラックからミカンの箱を手ぎわよく降ろしてます。さきほど着いたばかりの長距離便です。

この市場に運び込まれてくる野菜やくだもの、大部分が県外産とのこと。長岡効で作られる地場産は四分の一もありません。とくに冬はこの傾向が強く、野菜をつめた段ボールの箱のほとんどに「北海道特産」「愛媛特産」などの文字が見られます。

広い場内には、すでにきのうから入荷で、品物が何列にも山と積まれています。くだもの箱、ビニールでつつまれた白菜……。

底冷えのする場内、青々としたねぎの露が、あたりをいつそう冷たくさせている感じです。

七時——青い帽子に番号札をつ
元賈参加人、赤い帽子の仲買

度です。
この共済期間は、毎年四月一日から翌年三月三十一日までとなっています。したがって、現在加入されている方も四月一日からはじまる交通災害共済制度には、あらためて加入いたしましよう。

▽加入資格：どなたでも年令に制限なく加入できます。

▽掛金（会費）：一人年額三百五十円（今まで大人三百六十円、中学生以下三百円を一律にし、

A black and white illustration showing a car skidding on a snowy road. The car is tilted to the right, and its rear wheels are spinning. A person is standing outside the car, holding an umbrella and looking towards the front. The background is filled with falling snowflakes.

公宮卸売市場の

毎日の食卓をきわめてくる野菜——。市内はもとより長岡近郊で食べられている野やくだもののはほとんどは、いたんこの公営卸売市場に集められ、セリにかけられて、ややさんのお店先にならびます。

公営卸売市場は、四十二年月、流通機構を整備して、野が適正な値段で売買されるよにしようと建設したもののです

こうした公営の卸売市場はめずらしく、県内では新潟市と高田市の二ヵ所にあるだけです。ここのがんばり年間売上高はおよそ二十一億円（四十五年）にも達しています。

（一月二十日取材）

- ▶卸売人…生産者から委託された品物をセリ売りし、決った手数料を受け取ります。
- ▶仲買人…品物をセリで買い取り、市場の中にある店で小売商や食堂、病院などの一般買出入人に売ります。
- ▶売買参加人…仲買人といっしょにセリに参加して品物を買い取る小売商などをいいます。

はじめました。正面にかけられた大きな黒板には、きょうの人荷量や神田、築地、新潟各市場の青果物市況が手早く書き込まれて行きます。

あらかじめ目ぼしをつけて品定めとする人、黒板に目をやって値段を予想する人、ミカンをほおばつて味見をする人——。市場の前の駐車場にもずりりと車が並び、赤と青の帽子の数がだんだん多くなってきました。静かだった場内に活気がみなぎってきます。

現場事務所ではセリ人の打ち合はせが行なわれ、いよいよセリの

冬の運転は気をつけよう

▽歩道が通れず歩行者が車道を歩きますから
細心の注意をしましよう。

▽雪の時はチエーンをつけましょう。

▽消雪パイプの水は路面にたまらないよう
よく排水してください。

▽路面に水をまくと凍つた場合危険です。

▽不法駐車はやめましょう。

▽飲酒運転はやめましょう。

▽交差点は徐行しましょう。

▽信号機がいつ変つてもよいように注意し
しょう。

▽冬期間、一部の踏切が通れません。標識
注意しましょう。

